

ミニキャン8期 先行特典 ｜ ラボ月1レッスンより

食器づくり

パテで原型を作り、型を取って、ひだのある**リム皿**と**シンプルな丸皿**を作ります。
一度型を取ってしまえば、抜いてトントンするだけ。同じお皿をいくつでも作れます。

◎ 用意するもの

粘土・パテ
造形パテ ／原型用　樹脂粘土 ／お皿本体　ブルーミックス ／型取り用

原型づくりの道具
スケール ／今回はE　透明の板（プラ板）
クリアファイル ／4cm角くらいに切る・セロテープ
OPPシート ／4cm角くらい　霧吹き（お水）　アートプレッサー
丸型 ／2.1cmくらい（セットの大きい方から4番目）
細工棒 ／先が丸く、幅3mmくらいのもの　カッター・手袋 ／手が弱い人
ウェットティッシュ

成形の道具
ベビーオイル・ティッシュ
先端が平らで直径1.5cmのもの ／リムを立てる。DHCのリップクリームがぴったり

金縁（お好みで）
ペベオ デコクリーム 210ゴールド ／水性アクリル　細めの筆

💡 **1.5cmの「平らなもの」を探してみて**
先端に凸凹がなく、まっ平らなものならOK。DHCのリップクリームのほか、無印良品のネイルオイルのキャップも1.5cmくらいです。

1 原型の準備をする

1. 透明の板に、4cm角くらいに切った**クリアファイルをセロテープで貼る**
   この上で作業すると、固まった原型がペリッとすぐ取れます。板に直接作ると取りにくく、カッターを差し込んで外すことになります。
2. **造形パテ**の白とベージュを、**スケールEくらいずつ**取る
   少し余るくらいの量です。手が弱い人は手袋をしてね。
3. よく混ぜて**丸っこい形**にしておく
4. 手がベタベタするので、ウェットティッシュで拭くか洗って、一度手をきれいにする

★ **パテを制する者は、ミニチュアを制する**
パテはベタついて使いにくいけれど、上手に使えるようになると細かいものを成形できるようになります。樹脂粘土を細工棒で細かく成形するのは難しいので、**パテで成形して原型を取る**やり方がおすすめです。

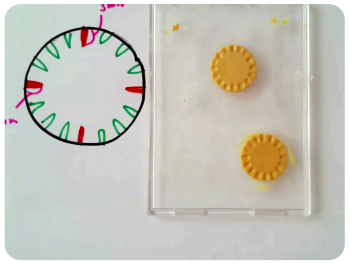
2 平らにして、丸型で抜く

1. 霧吹きで**お水を吹きかける**
   ベタつき防止。お水は必須です。
2. いきなりアートプレッサーではなく、まず**指で平らに**伸ばす
   指紋がついてもOK。なるべく厚さが一定になるように。
3. **OPPシート**を上に重ね、アートプレッサーで**1mmくらい**の厚さにプレス
   丸で抜くので、きれいな丸になっていなくて大丈夫。いろんな方向から見て、厚さが均一か確認してね。
4. **丸型（2.1cmくらい）**で抜く
   押して、型をくるくる回すときれいに取れます。
5. まわりのパテを取り除く

⚠ **OPPがくっつくときは**
パテの表面が乾いていると、OPPがペタペタくっつきます。水分がなくなったと思ったらもう一度霧吹きして、**お水をたっぷり含んだ状態**でOPPを重ねてください。

3 ひだ（模様）を入れる

ここからは**目分量**。自分の感覚を信じて、集中してね。



赤い線（十字の4本）を先に入れ、その間に緑の線を3本ずつ

1. もう一度霧吹きして、**原型をしっかり濡らす。細工棒にもお水**をつける
   濡れていないとパテがくっつきます。途中でも、くっつきだしたらお水を足してね。
2. まず**十字に4本**入れる（図の赤い線）
   細工棒を縁から**3mmくらい**押し込むのが目安。
3. 4本の**間に3本ずつ**入れて、一周する（図の緑の線）
4. 大きさがばらついたところを、あとから修正する
5. このまま**乾かす**

♡ **多少のばらつきは気にしなくて大丈夫**
ひだの大きさが少し違っても、そこまで気になりません。一周がきれいな円にならず、ちょっと波々になってもOKです。

💡 **細工棒の太さで、いろんなお皿に**
細工棒の幅を変えると、表情の違うお皿ができます。太い細工棒で「3本」を「2本」にしたり、細い細工棒でもっと細かくしたり。いろんな原型を作ってみてね。

4 型を取って、リム皿を成形する

型を取る

1. 原型が乾いたら、**ブルーミックス**で型を取る
   原型が薄いので、型取りは少し難しめ。ていねいにね。



ブルーミックスで取った型

成形する

1. 作業の前に、**手と作業台のホコリ**をきちんと取り除く
2. 型に**ベビーオイル**を塗り、**ティッシュオフ**して余分な油をなじませる
3. 樹脂粘土を**スケールE 1個分**取る
   「少ないかな？」と思うくらいでOK。かなり薄く伸ばします。
4. 型に合わせて、**指で薄く**伸ばす
   透けるくらいの薄さで大丈夫。
5. **クリアファイル**でキュッキュッと押しつけて、指紋を消す
6. 型から抜く
7. **1.5cmの平らなもの**を、お皿の**中の円にぴったり**合わせて押しつける
8. 外側の**リムを内側に立ち上げて**立体的にし、クリアファイルで押しつけて平らに整える
9. 取り出して、形を整えたら乾かす



中の円に、平らな先をぴったり



リム皿のできあがり

⚠ いちばんの難関は「ホコリ」

白っぽいお皿はホコリが本当に目立ちます。マキも何枚もダメにしてきました。ホコリ対策はしっかりと。

💡 粘土の色で雰囲気が変わる

白をしっかり入れると、透けない白いお皿に。**何も色を入れない**と、少し透け感のあるプラスチックのお皿のような雰囲気に。ベージュや、もっと色をつけてもかわいいです。いろいろ試してみてね。

★ 大事なのは「丸型」と「押しつけるもの」の相性

2.1cmの丸型には、1.5cmの平らなものがベストバランス。もっと大きいお皿を作りたいときは、1.8cmや2cmくらいの平らなものを探すと、同じやり方で作れます。

このサイズは、チョコケーキなどをのせるのにもちょうどいい大きさです。

5 縁を金色に塗る（お好みで）

縁を金色にすると、ぐっとおしゃれになります。マキが使っているのは**ペベオのデコクリーム（210ゴールド）**。木・金属・ガラスなどに使える水性アクリルで、もったりしていて塗りやすく、アクリルガッシュの金よりずっと発色がいいです。



ペベオ デコクリーム 210ゴールド

1. 筆に**そのまま**とる
   お水は含ませず、直塗りでOK。
2. 縁を**半周**塗って置いておく
   10分くらいですぐ乾きます。
3. 乾いたら、そこを持って**残りの半周**を塗る

- 筆は**水と石鹸**で洗えば大丈夫
- 210ゴールドは発色のいい金。**アンティークゴールドっぽい色**がよければ、別の色を試してみても
- 大容量なので一生使えるくらいの量。小さいサイズがあれば、そちらでも
- マキはスプーンなど、ゴールドを使うときはだいたいこれで塗っています

6 シンプルな丸皿を作る

同じ**2.1cmの丸型**と**1.5cmの平らなもの**があれば、原型なしでシンプルなお皿がすぐ作れます。

1. 樹脂粘土を**1mm弱**の厚さに伸ばす
2. **2.1cmの丸型**で抜く
   取るときは、クリアファイルで端からちょっとずつ。
3. 1.5cmの平らなものの先に、**少しオイル**を塗る
   くっついてしまうことがあるので。
4. お皿の**中心**に置き、ぎゅーっと押す
   いちばん難しいのは、中心に置くこと。上からよく見て狙ってね。
5. ひっくり返して、底を平らにならす
6. 下のクリアファイルに押しつけてから、ペリペリと取る



シンプルな丸皿

♡ カラフルにしてもかわいい

ピンクなど、いろんな色で作ってもかわいいです。こちらも、平らなものを大きくすれば大きいお皿が作れます。

Q レッスン中のお話から

石膏粘土じゃなくて、樹脂粘土なのはなぜ？

お皿づくりには石膏粘土も向いていて、固まったあとにやすりで形を整えられるのが良いところ。でも材料をそろえるのが大変なのと、石膏粘土は少し脆さがあります。**樹脂粘土は強い**ので、できれば樹脂粘土がベストです。

★ 割と簡単、量産もできる

形を作って型を取ってしまえば、あとは抜いてトントンするだけ。1枚作るのも、同じお皿をたくさん作るのも簡単です。お気に入りのスイーツをのせて、飾ってみてね。